

9 東京海上ビルディング本館

TOKIO MARINE AND FIRE INSURANCE COMPANY

所在地／東京都千代田区丸の内1—2—1

建築主／東京海上火災保険株式会社

設計者／(株)前川国男建築設計事務所

(株)横山建築構造設計事務所

(株)東京建築研究所

施工者／株式会社竹中工務店

株式会社大林組

鹿島建設株式会社

清水建設株式会社

竣 工／昭和49年2月

Location／Tokyo

Owner／Tokio Marine and Fire Insurance Company

Design／Kunio Mayekawa, Architect and Associates

Yokoyama Consulting Engineers

Tokyo Kenchiku Structural Engineers

Contractor／Takenaka Komuten Co., Ltd.

Ohbayashi-Gumi, Ltd.

Kajima Corporation

Shimizu Construction Co., Ltd.

Date of Completion／February, 1974

●選評

武 基 雄
大 高 正 人
吉 成 武

この建築をめぐる美観論争は記憶にまだ新しい。美観論争は、世の人々が建築と都市を同時に論じた稀な例であったが、論客に立った文化人の都市空間に対する見識の浅さ低さが今も強く印象に残っている。都市計画は道路と土地利用の計画であって建築がこれに関与することのほとんどない日本、この分野では後進国のわが国は、文化人といえども軒を連ねる街並という程度の空間認識に止まらざるを得ないのかと少なからず驚いたものであった。

このような稀な洗礼を越えて完成した東京海上ビルは、まさに日本の超高層建築の原点であり、新しい都市空間への先駆者であった。施主と設計者の労苦と、それを越えた確信には深く敬意を表せざるを得ない。

東京海上の竣工パンフレットに次のような一文がある。「この企画と設計は、丸の内一丁目から大手町にかけての超高層化と、それによる緑と太陽の地上空間獲得のための先駆となったもの。先人の雄図に恥じぬ構想であったと評価出来よう。このビルは、オフィス街の都市空間における人間性獲得の新しい渦の発生地という名誉を後世に授けるかも知れない。」歴史家は恐らくそう評価するであろう。論争の本当の原因と経過もいずれは明らかにされる必要があろう。ともあれ、ここには、建築は自分の用にとりればよいもの、建築は自分の勲章であるといったせまい自己目的に終始する多くの施主にはない高い見識がある。都市空間に参加し、都市環境を積極的に創造しようという意志がある。この見識なくしては決して良い都市は造り得ず、そして自らもその被害者となるのを多くの日本人々は知らない。このような社会の潮流に対する、施主と設計者の、そろばんを外した闘いが美観論争であった。

設計も、いわゆるカーテンウォールを

廃し、広場に、明快に確信をもって構造物をそびえ立たせている。広場が床の間なら建築は置き物と見立てることも出来る。確信をもって環境をそこに固定するという感じで、記念的な効果が自然に表現されている。これは論争の環境や経過を体内化した見事な表現であり、高く評価したい。

施工もまた担当者の技術の高さと綿密な力量を推測することが出来る。カーテンウォール工法の技術や工夫は多く蓄積されているが、それによらなかったこのビルの施工にあたっては、多くの新しい研究工夫を必要とした美である。風、雨、地震等に対するチェックポイントも多く、その多くが新しい問題ではなかったかと思う。これらを、設計者の優秀な技術陣と協力して見事に解決した施工者の力量は、群を抜いたものと評価する次第である。

REVIEW

Motoo Take
Masato Otaka
Takeshi Yoshinari

The double controversy surrounding the construction of this building — over the importance of maintaining a uniform skyline along a boulevard facing the Imperial Palace, and the propriety of a high-rise building opposite the Palace — is still fresh in the Japanese memory, and is a rare example of both architecture and the city as a social environment being considered at the same time. The impression left by the shallow views of intellectuals who discussed urban space with remarkable ingenuity, and their lack of proper perspective, remains strong. Consideration of architecture is generally not included among the concerns of city planning in Japan, which focusses more on highways and land use. In this sense, Japan is still a developing nation.

The completed building is in the vanguard of new approaches to urban space, although it was built with strict adherence to the canons of high-rise architecture in Japan. The efforts of the client and the architectural office, and the conviction that carried them through, deserve respect and admiration.

The insurance company's aims are laudable, as their considerations are not limited to narrow self-interest, but rather show a desire to participate in the development of urban space, and to create an urban environment. Without this attitude, the development of a good urban environment is all but impossible, yet most Japanese do not realize this.

The design makes an advance in use of the curtain wall and raises the structure high above the open space it commands, clearly and confidently. If the plaza is the tokonoma, then the architecture soars above as its centerpiece. A monumental effort is expressed naturally, stimulating a feeling that space here is clear and explicit.

●概要

建築概要

敷地面積	10,149㎡
建築面積	2,208㎡
延床面積	63,120㎡
構造規模	鉄筋コンクリート造（地下3～4階） 鉄骨鉄筋コンクリート造（地下1～2階）高層部架構 鉄骨造 地下4階 地上25階 塔屋2階

仕上げ概要

外装 高層部 柱・梁型：磁器質タイル打込み
プレキャストコンクリート 窓台・軒天井：耐アルカリペンキ塗り サッシ：耐候性鋼安定被膜促進処理仕上げ

内装 ホール 床：磁器質タイル 幅木：外国産御影石 壁：外国産御影石および大理石 天井：岩綿吸音板／基準階事務室 床：プラスチックタイル 幅木：プラスチック 壁：化粧鋼板／パネル 天井：岩綿吸音板

設備概要

電気 トリプレックス電力ケーブルで本線、予備線を22KV 2回線で受電し乾式変圧器 5,000KVAを並列運転

給水 高層部（塔屋2階）、中層部（15階）、低層部（9階）の3系統による高置水槽方式

空調 4管ダブルコイルのファンコイルユニット方式、セントラルダクト方式、天井吹出し方式／冷熱源 ダブルハンドヒートポンプ×3、ターボ冷凍機×2、空気熱源ヒートポンプ×1

昇降機 エレベーター：乗用13基、人荷用2基
エスカレーター：2基 ゴンドラ：1基

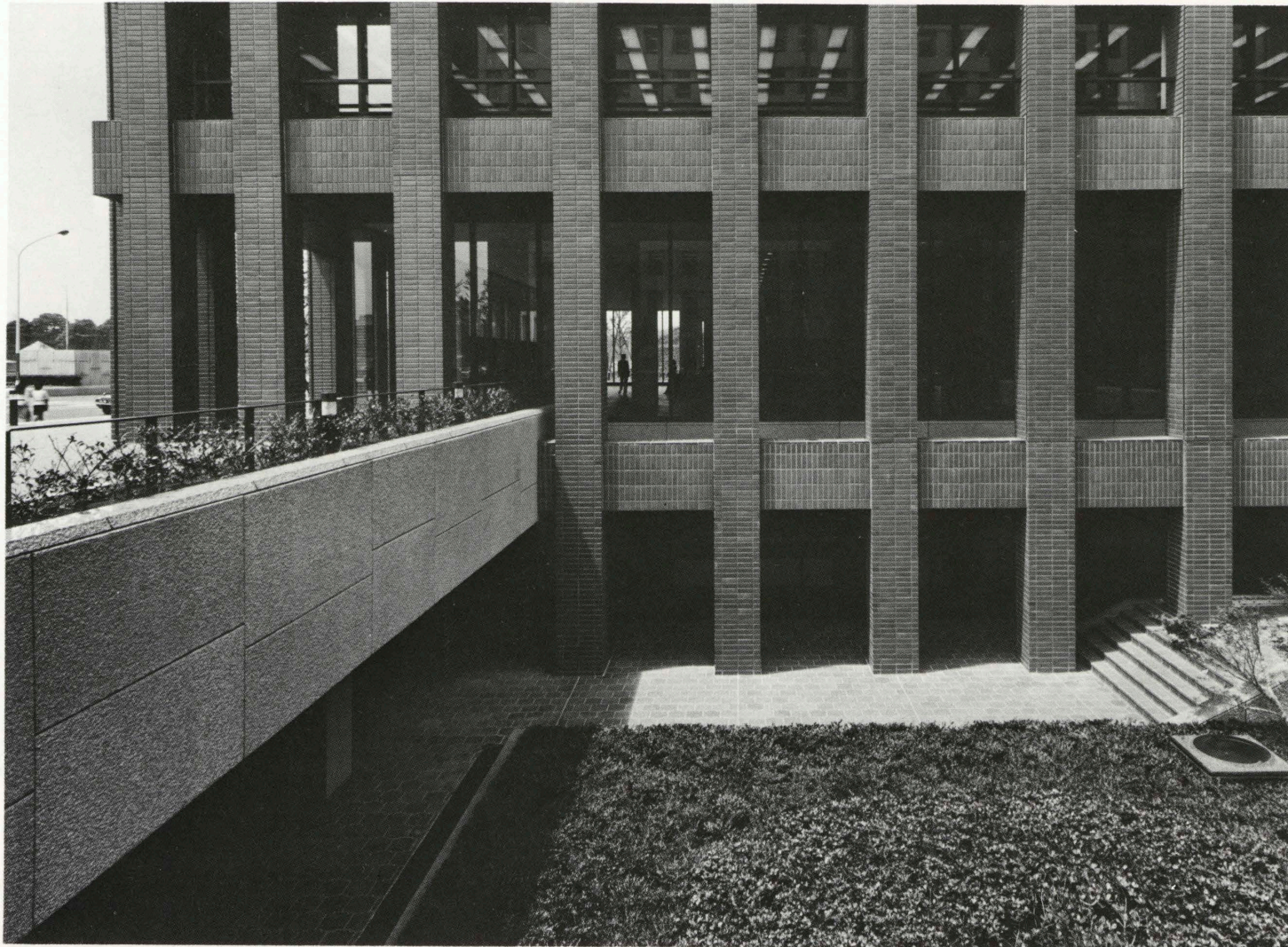
消火 スプリンクラー 泡消火 不燃性ガス消火



皇居側からみた全景／Marunouchi business district seen from the north



東広場／East plaza



東広場からみた中庭／Courtyard garden seen from the east plaza



地下ホールからみた中庭／Courtyard garden seen from the basement hall



エントランスホール／Entrance hall



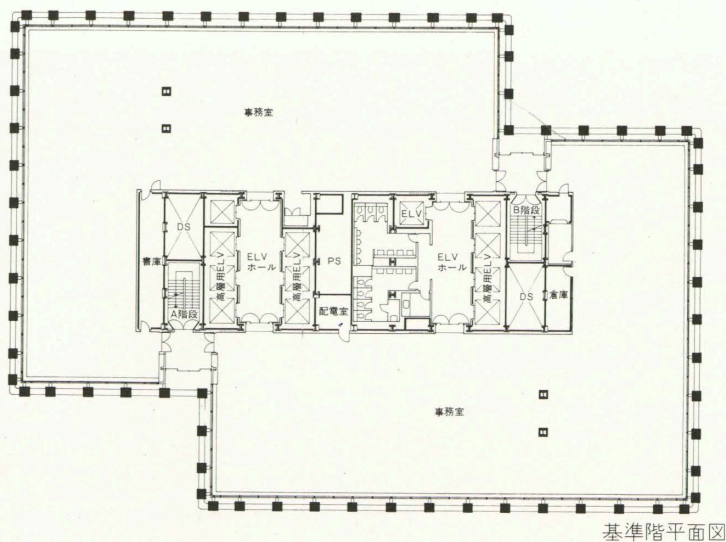
エレベーターホール／Elevator hall



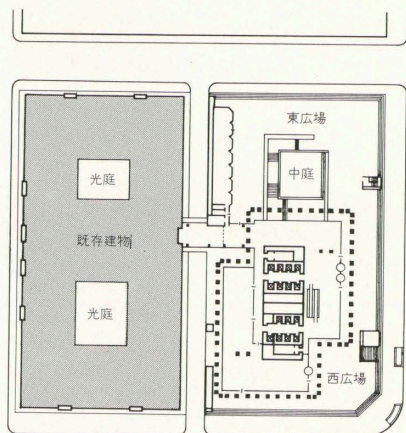
役員会議室／Executive conference room



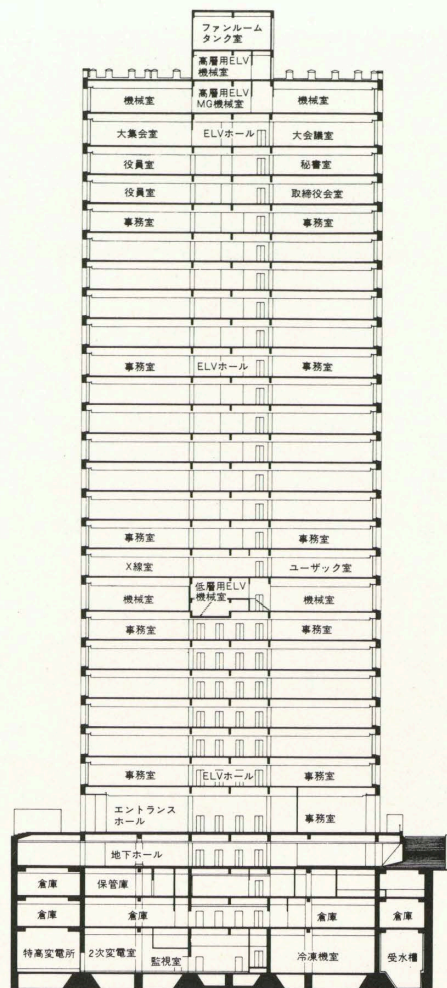
サロン／Salon



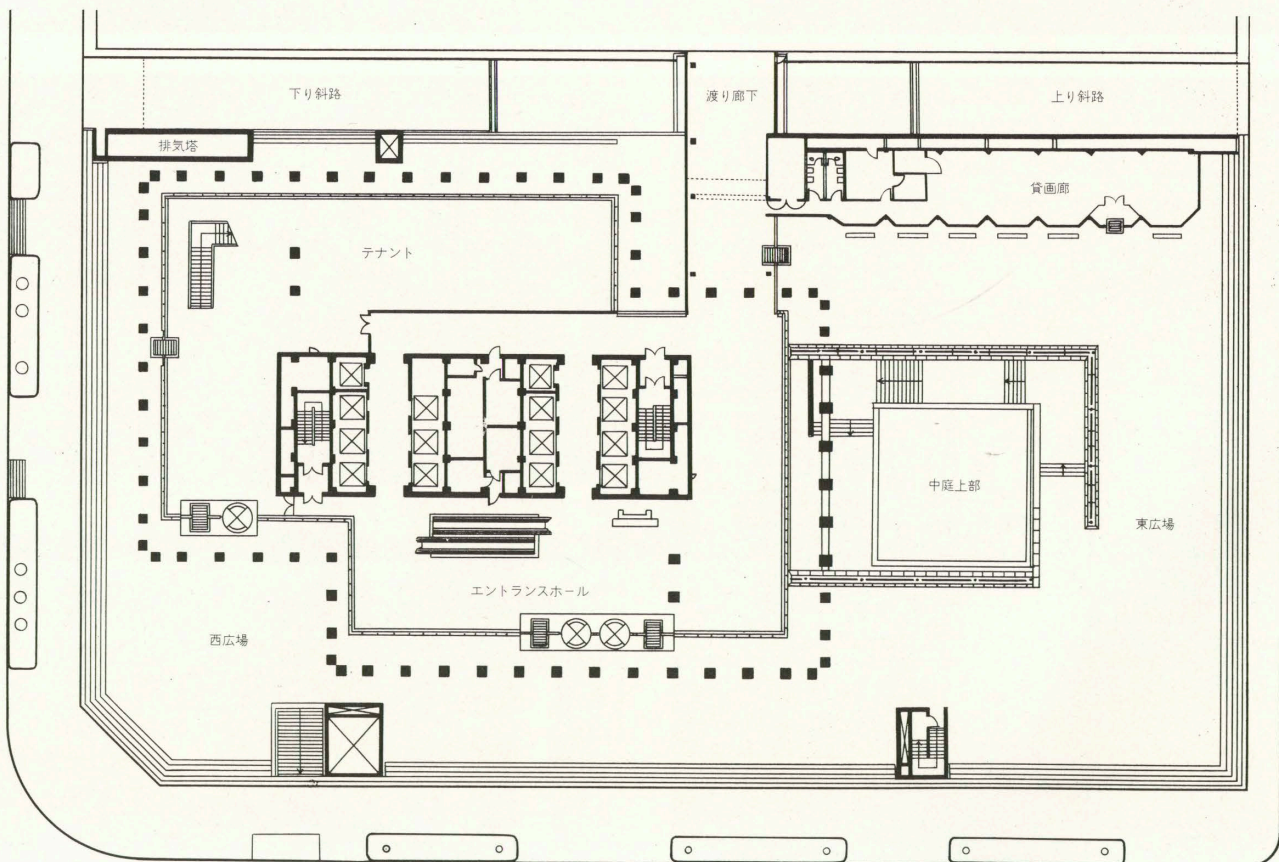
基準階平面図



配置図



断面図



1階平面図